







じーさんが
あんまり軽く言うから
本気にされてない
んじゃないのか？

もう少し
忍ぼうぜ

また
断られて
しまった

いや同田貫は
奥ゆかしいの
だなあ



なんだこれ？



ふむ、
そうか

それではこちらも
確りと手順を踏まねば
なるまいなあ



同じ本丸に
居るのには？

あはは



みかづきからの
ふみですよ

ぼくは
おつかい
なので

文って
手紙かあ？



という
いみです！

花の香りを
嗅ぐまでは
春が来たとは
思いませんよ

春が来たと
噂に聞けれど
まだ花が咲かず
香りもしない

それは
ですね

へえ…



春立つと
風に聞けども
花の香を
聞かぬ限りは
あらじとぞ思ふ

和歌かあ…
意味がねえ

花の香りって：

主が気張って
春の景趣買ったから
花は爛漫に咲いてるし
今も見てるよなあ：

いい天気
だねえ

茶が
うまいな

うん

部屋から桜が
見えねえって
愚痴かあ？

あついえ
ここでいう
はるとは：

おい
三日月さん

うん？

俺の部屋なら
桜満開だぜ

見にくるか？

……
!!







三日月さん
待ってこれ
実はこれは
間違いで…



そう緊張せずとも
分かっているさ

お前は安心して
身を任せておくれ

はあ…？







ほっ...

梅のお前は
なんとも可憐な
ものだなあ



は...
戦場での
お前は
美しいが



可憐なのは
アンタのほう
だろーがッ!!



それが欲情した
男の顔かよ...

戦場で
美しいのは
アンタだろ

別にいいけど
俺には美術的
価値なんて
ねーからな

おや



そうだな、
それは俺だけが
知っていればよい

そうかそうか
自身の魅力も
知らぬか

さも
ありなん

共に戦場を駆けねば
見抜けぬ者も多かろう



このひとの
言うことは
意味が
わからねえな
?



なんで
そんな
ところを
?

…んぞ



れろ

…ふ

びん

きん



ちゅっ

んぞ





ふむ…
こんなものか



この俺が
いとも
容易く…



はあああッ?

とッ…







伴侶を
悦ばせたい
男の矜持さ

許せ



お
だ
め
い
だ
つ
な
は



もう
逃げらんねえ





戦場でも
汗ひとつ
かかないくせに

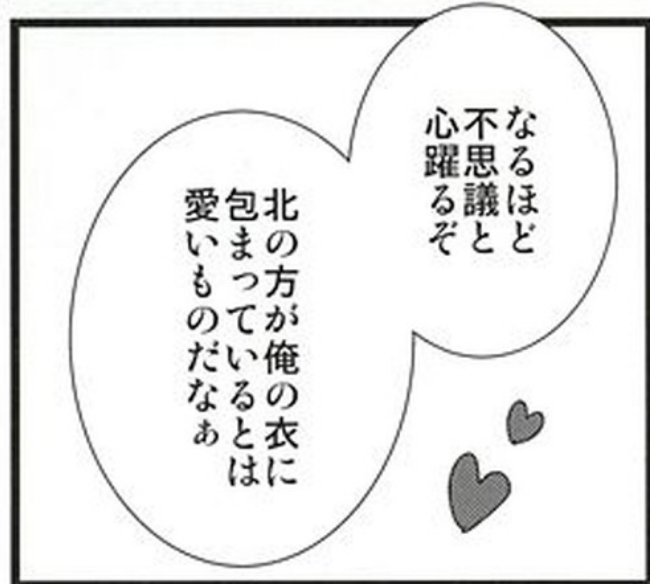


ぽおおお

一夜を共にした後
着物を交換する
ならわしてな



……？
これアンタの
着物だろ？



なるほど
不思議と
心躍るぞ

北の方が俺の衣に
包まれているとは
愛いものだなあ



これより先は
ふたりは
夫婦と成った

お前の敵は
わが宿敵だ

朽ち果てるまで
共に戦場を
駆けようぞ





2015年3月8日

痛みどめ
PAIN KILLER

